

市民共同発電所事業による 再生可能エネルギー普及促進と 収益の地域還元の実践

2016. 11. 1

一般社団法人 市民エネルギー生駒

「市民エネルギー生駒」の誕生

生駒市

環境No. 1都市を目指す！
行政としての取り組み

生駒市民

市民組織での
環境活動への取り組み

環境への
思いは
一つ！

環境に優しく安全性の高い再生可能エネルギーの普及と
地域のエネルギーによる収益を地域に還元し地域の活性化を生み出す

奈良県初の**全額市民出資**による太陽光市民共同発電所
一般社団法人 市民エネルギー生駒

活動の概要

- 2013年 10/16 一般社団法人「**市民エネルギー生駒**」を設立
- 2014年 1/14～2/28 市民共同発電所1号機の出資者を募集
(説明会を計4回実施)
- 3/27 **市民共同発電所1号機**が発電を開始
- 8/30 市民向けに「太陽光発電設置セミナー」を開催
- 2015年 9/7～3/1 市民共同発電所2,3号機の出資者募集
(説明会を計4回実施)
- 10/3～12/5 再生可能エネルギーのための連続講座を計4回開催
- 2016年 3/5 **市民共同発電所3号機**が発電を開始
- 3/30 **市民共同発電所2号機**が発電を開始
- 4/5 収益で市に備品(南こども園の園舎デコレーションパネルの設置／
優楽の太陽光発電設備の経年劣化したパワーコンディショナーの取替え)
を寄贈
- 現在 市民共同発電所4号機設置に向け検討中

生駒市民共同発電所1号機

パネル枚数:273枚(195W/枚)
発電出力:53.235kW
設置費用:1,700万円
設置年月:2014.3

イモ山公園
生駒市エコパーク21屋根

環境モデル都市認可!
2014.3.7

2号機 南こども園



◆こどもたちの成長する新設園へ！

- 発電出力:57.915kW
- 認可出力:49.5kW
- 初年度発電量:57,599kWh

3号機 小瀬保健福祉ゾーン法面



市民共同発電所 2カ所目が完成

生駒で通電式

市民らが出資してソーラーパネルを設置した「市民共同発電所」が生駒市に完成し、5日、通電式があった。小紫雅史・同市長らが顔をみせた。

2014年3月にできた1号機に続く2カ所目。3月末には、3カ所目の完成も予定されている。

市民らでつくる一般社団法人「市民エネルギー生駒」(楠正志^{ただし}代表理事)が運営する。市内の介護老人保健施設の敷地内に約50^{キロ}ワットのソーラーパネルを設置した。

発電した電気を今後20年間、電力会社に売る。出資呼びかけに応じた市民らに、配当を上乗せして出資分を返していく方針だ。

(小出大貴)

2016. 3. 6
朝日新聞朝刊掲載

◆介護老人施設南向き法面利用

- 発電出力: 56kW
- 認可出力: 49.5kW
- 初年度発電量: 58,691 kWh

活動の特徴

①市民力の高さ

全額市民出資(うち生駒市民7割以上)により事業費を調達

②シルバー人材が活躍

過去のキャリアを活かし地域のために活動

③幅広い対象に向けた普及活動

子どもからお年寄りまで、環境意識の低い人から高い人まで、幅広い対象に向けた活動

④収益の地域還元の実践

こども園に園舎デコレーションパネル、介護老人保健施設にパワーコンディショナーを寄贈するなど、市民の目に見える形での収益の地域還元

普及啓発活動

ソーラーカー
ソーラー
トレイン
工作教室

みんなでつくる
おひさまエネル
ギー(再エネ普
及イベント)



寄贈品

南こども園
デコレーション
パネル



2016. 4. 13
読売新聞朝刊掲載

小紫市長（右から4人目）に目録を渡した「市民エネルギー生駒」のメンバー（生駒市役所で）



設備機器など
生駒市に寄贈

市民出資の法人
再生エネルギーの普及を
目指す生駒市の一般社団法人「市民エネルギー生駒」は、太陽光発電の収益を活用し、発電設備の機器などを市に寄贈した。

法人は市民の全額出資で発足し、1号機のソーラーパネルを2014年3月、し尿処理場「エコパーク21」に設置。関西電力に売電しており、順調に収益をあげている。出資を受けた17

将来性

- ☆セカンドキャリアを迎える市民の地域活動として
全国のモデルとなる
- ☆生駒市地域新電力事業との連携により
エネルギーの地産地消を推進



**ありがとう
ございました**